

令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	116	明越会館管理運営事業						
	この事務事業の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち							
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう							
			基本事業	生涯学習							
	主管課名		協働推進課			課長名	山田 浩昭				
	この事務事業の開始時期		昭和56年			事務区分	□法定受託事務 ■自治事務				
	この事務事業の根拠法令		みよし市公所設置規程、三好文化広場の設置及び管理に関する条例								
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由					
	明越会館は、昭和56年4月に開館し地域住民の文化活動、相互のふれあい、憩いの場、コミュニティの場、気軽に利用できる施設や利用者が快適で安心できる施設として、適正かつ効率的な管理運営をしている。「SDGsの取り組み：3, 17」					昭和56年度に文化広場の一部として建設され、開館後40年以上経過し、施設も老朽化している。					
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			会計年度任用職員を雇用し、受付業務、自動火災報知設備の保守・清掃業務の委託を実施し、施設を適正に管理をしました。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1)活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	昭和56年度に開館後40年近く経過する中で、施設の老朽化による修繕が必要な箇所が増えている。				名称		単位				
					① 開館日数	日	② 延べ床面積	m ²			
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2)対象指標（対象の大きさを表す指標）						
市民					名称		単位				
					① 人口	人		②			
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3)成果指標（目的の達成度を示す指標）						
快適かつ安全に利用してもらう					名称		単位				
					① 事故件数	件		②			
結果(上位基本事業の意図)					(4)結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
みなよし地区の拠点施設として多くの市民に利用し活用してもらう					名称		単位				
					① 利用者数	人		②			
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度		単位	H31年度実績値	R2年度計画値	R2年度実績値	R3年度計画値	R4年度目標値	R5年度目標値	R6年度目標値		
(1)の活動指標		① 日	309	307	265	306	306	306	306		
		② m ²	376	376	376	376	376	376	376		
(2)の対象指標		① 人	61,040	61,570	61,236	62,100	62,360	62,620	62,880		
		②									
(3)の成果指標		① 件	0	0	0	0	0	0	0		
		②									
(4)の結果の成果指標		① 人	2,464	2,200	1,422	2,200	2,200	2,200	2,200		
		②									
予算費目		会計	01 一般会計			款	02	項	01	目	15
コスト		年度	H31年度実績値	R2年度計画値	R2年度実績値	R3年度計画値	R4年度目標値	R5年度目標値	R6年度目標値		
事業費(決算又は予算額) A		単位	15,692	2,051	1,718	1,615	1,852	1,523	15,240		
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	167	150	153	150	150	150	1,000		
	一般財源	千円	15,525	1,901	1,565	1,465	1,702	1,373	14,240		
人件費B		千円	5,919.2	7,972.6	8,756.3	8,919	8,919	8,919	8,919		
正職員従事時間×人数		時間×人	127×5	138×4	144×4	125×5	125×5	125×5	125×5		
正職員以外の人件費		千円	3,811	6,140	6,844	6,844	6,844	6,844	6,844		
その他の費用C		千円	177	326	178	178	178	178	178		
トータルコストA+B+C		千円	21,788.2	10,349.6	10,652.3	10,712	10,949	10,620	24,337		
単位あたりコスト		① 千円/人	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.4		
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0		

事務事業名	No.	116	明越会館管理運営事業
-------	-----	-----	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	みなよし地区の住民の相互交流の場として活用されており、今後あらたな拠点施設の整備されるまでは継続利用する必要があるため。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	市民の健康増進、文化の振興及び福祉の向上を図る場所として設置しているため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	現状の施設では、施設を適正に使用できる環境を提供することが優先されるため。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	修繕箇所の早期発見に努めることで、適正な施設管理を行うことができるように、職員による日常点検を継続する。	
	目的達成状況	内容	新型コロナウイルス感染症の影響により施設を令和2年4、5月は閉鎖する期間が生じ利用者数の減少はあるが、それ以外は計画どおり達成した	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input checked="" type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 消防用設備の保守、施設の清掃業務、機械警備業務を委託	
効率性	事務事業の統合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	おかよし交流センターの事業と施設管理に係る経費について効率化が図れないか検討する。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	他の地区拠点施設及び地区コミュニティ広場を含めた総合管理による施設管理等、施設の維持管理上の経費削減について検討を行う。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	令和元年度において受益者負担の見直しを実施し、現行どおり据え置くことに決定しているため。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	利用者が快適に施設を利用できるよう、施設や備品等に配慮し適正かつ効率的な管理運営を図る必要がある。	対応策	みなよし地区の地区拠点施設として再整備を行う。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	清掃・維持管理に係る業務を業務委託しながら、会計年度任用職員を雇用し業務を実施した。	変更追加	昨年度業務実績を踏まえ、施設の管理マニュアルを修正する。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 みなよし地域の地区拠点施設として整備を行っていく。 R2；ワークショップ R3～R4；基本設計及び実施設計	
コストの方向性		↑ 増加			
成果の方向性		→ 維持			

令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	96	カリヨンハウス管理運営事業					
	この事務事業の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち						
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう						
			基本事業	生涯学習						
	主管課名		市民課		課長名	村瀬 智世子				
	この事務事業の開始時期		平成25年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
	この事務事業の根拠法令		みよし市カリヨンハウス設置条例							
	事業の概要		現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	カリヨンハウス設置条例に基づき「カリヨンハウス」を管理運営するものである。 「SDGsの取り組み：4, 17」		三好ヶ丘駅前の活性化及びにぎわいを創出する施設として、市民、NPO、大学、企業などの公益的な活動や市民相互の交流の拠点となっている。							
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		臨時的非常勤職員を午前・午後・夜間のローテーションで配置し、常時2人体制で、にぎわいプラザの貸館受付業務等の実施及びカリヨンハウスの施設管理業務を行った。設備機器の保守点検及び維持管理は、ビルメンテナンス会社に委託し、一括管理を行った。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	事業途中のため現状のまま継続して事業実施。			名称		単位				
				① にぎわいプラザ利用件数		件				
				②						
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
市民				名称		単位				
				① 人口		人				
				②						
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
安全かつ適切に維持管理を行う。				名称		単位				
				① 事故件数		件				
				②						
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
三好ヶ丘駅前のにぎわいを創出する。				名称		単位				
				① 利用者数		人				
				②						
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標										
指標 \ 年度	単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値		
(1)の 活動指標	① 件	1,619	1,700	1,165	1,700	1,700	1,700	1,700		
	②									
(2)の 対象指標	① 人	61,040	61,570	61,236	62,100	62,360	62,620	62,880		
	②									
(3)の 成果指標	① 件	0	0		0	0	0			
	②									
(4)の結果の 成果指標	① 人	24,279	25,000	10,284	25,000	25,000	25,000	25,000		
	②									
予算費目	会計	01 一般会計			款	02	項	01	目	15
コスト	年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値		
事業費(決算又は予算額) A	単位	20,934	22,393	19,859	24,954	22,636	22,576	22,598		
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	2,923	2,591	2,206	2,805	2,805	2,805	2,805	
	一般財源	千円	18,011	19,802	17,653	22,149	19,831	19,771	19,793	
人件費B	千円	11,094	2,988	2,988	2,988	1,992	1,992	1,992		
正職員従事時間×人数	時間×人	225×4	225×4	225×4	225×4	200×3	200×3	200×3		
正職員以外の人件費	千円	8,106	0	0	0	0	0	0		
その他の費用C	千円	0	0	0	0	0	0	0		
トータルコストA+B+C	千円	32,028	25,381	22,847	27,942	24,628	24,568	24,590		
単位あたりコスト	① 千円/人	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4		
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0		

事務事業名	No.	96	カリヨンハウス管理運営事業
-------	-----	----	---------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	三好ヶ丘駅前の活性化及びにぎわいを創出する施設として、市民、NPO、大学、企業などの公益的な活動や市民相互の交流の拠点となっている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	市民等による活動及び交流の拠点となっている。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	適切な施設管理を維持している。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	このまま適切な施設管理を維持していく。	
	目的達成状況	内容	事故のない、安全で適切な維持管理を行っているため、このまま適切な施設管理を維持していく。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input checked="" type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 令和2年度からにぎわいプラザ受付業務を外部委託。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	三好ヶ丘駅前のにぎわいを創出する拠点となるため、統廃合は不可能。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	令和2年度からにぎわいプラザ受付業務を外部委託することにより、人件費を削減。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	令和元年度の受益者負担の見直しにより、使用料について適正化したため。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	サンネット、子育てふれあい広場、にぎわいプラザの利用人数を考慮すると駐車台数が少ない。	対応策	今後更に利用者が増加した場合は、駐車場の整備が必要となる。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	臨時的非常勤職員を配置しにぎわいプラザ受付業務を行っていた。	変更追加	令和2年度からにぎわいプラザ受付業務を外部委託することにより、人件費を削減。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容・カリヨンハウスを三好ヶ丘駅前のにぎわい創出を図る拠点とするためにも、今後の利用促進のPRを強化していく。			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止				
	コストの方向性	→ 維持			
	成果の方向性	→ 維持			

令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	438	地区公民館運営費補助事業							
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう								
			基本事業	生涯学習								
	主管課名		生涯学習推進課			課長名	橋本 慎一郎					
	この事務事業の開始時期		平成11年4月			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		地区公民館運営事業補助金交付要綱									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	みよし市立公民館の設置及び管理に関する条例において8公民館が設置されている。 公民館の管理運営は行政区が行っている。 管理運営、修繕に関わる経費の一部を補助金として交付している。 SDGsの取り組み：11, 16, 17					住民の憩いの場、交流の場、及び生涯学習活動の地区拠点施設として適切な管理運営が必要である。						
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			地区の協力のもとに行われる施設の管理運営に対する支援の継続が必要であり、地区公民館運営補助金（8館）の交付をした。 ①補助金交付申請（行政区） ②補助金交付決定 ③実績報告書提出（行政区） ④運営費補助金支払								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	築年数が30年以上の公民館が4つあり、老朽化が進んでいる。				名称		単位					
					① 地区公民館数		館					
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
①地区公民館設置行政区数 ②区民					名称		単位					
					① 地区公民館設置行政区		区					
②人口					②	人口		人				
					目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）		
①生涯学習の場として公民館を有効に活用する ②公民館で活発に生涯学習活動をしてもらう					名称		単位					
					① 公民館主催事業数		件					
結果(上位基本事業の意図)					② 公民館利用人数		人					
					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
自主的な生涯学習活動の推進を図る					名称		単位					
					① 生涯学習に満足している人の割合		%					
② 生涯学習施設利用者数					②	生涯学習施設利用者数		人				
					事務事業の各種指標の実績と見込及び目標							
指標 \ 年度		単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 館	8	8	8	8	8	8	8			
		②										
(2)の 対象指標		① 区	8	8	8	8	8	8	8			
		② 人	61,040	61,570	61,040	61,236	62,100	62,360	62,640			
(3)の 成果指標		① 件	171	100	100	200	200	200	200			
		② 人	68,467	35,000	21,173	69,000	69,000	69,000	69,000			
(4)の結果の 成果指標		① %	37.1	50	31.1	50	50	50	50			
		② 人	138,273	75,000	70,824	150,000	150,000	150,000	150,000			
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	03
コスト		年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	21,746	25,780	25,638	24,569	7,932	27,489	46,747			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	21,746	25,780	25,638	24,569	7,932	27,489	46,747			
人件費B		千円	664	1,328	1,328	1,328	1,328	1,328	1,328			
正職員従事時間×人数		時間×人	200×1	400×1	400×1	400×1	400×1	400×1	400×1			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	22,410	27,108	26,966	25,897	9,260	28,817	48,075			
単位あたりコスト		① 千円/区	2,801.3	3,388.5	3,370.8	3,237.1	1,157.5	3,602.1	6,009.4			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/人	0.4	0.4	0.4	0.4	0.1	0.5	0.8			

事務事業名	No.	438	地区公民館運営費補助事業
-------	-----	-----	--------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	地域住民の文化・芸術活動拠点として必要である。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	対象となる範囲に変化がないため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的内容に変化がないため。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	運営管理等に指定管理者制度を導入、あるいは地域に払い下げし、地区に根ざした公民館運営により成果向上が期待できる。	
	目的達成状況	内容	年々公民館の利用人数が増加しており、公民館で生涯学習活動が活発に行われている。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 地区公民館へ運営費補助金を交付する。	
効率性	事務事業の統合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	令和元年度から他の事務事業と統合した。他に類似する事業がないため、統合できない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	令和元年度に他の事務事業と統合した際に、補助金の見直しを行った。補助対象の精査や事務の取組方法を工夫、改善し事業を進めていく。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	行政区が一部運営費を負担することで、受益者負担している。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	施設の運営管理の明確化が必要。	対応策	公民館の適切な運営及び維持管理に努めていく。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	特になし。	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 公民館の適切な運営及び維持管理に努めていく。			
		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			
コストの方向性		↓ 減少			
成果の方向性		→ 維持			

令和3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現状	事務事業名	No. 443	図書、逐次刊行物（新聞・雑誌等）等整備事業							
	この事務事業 の位置	政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち							
		施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう							
		基本事業	生涯学習							
	主管課名	生涯学習推進課	課長名	橋本 慎一郎						
この事務事業の開始時期	昭和53年4月		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		図書館法第1条							
P L A N 及 び D O	事業の概要		現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	多様化する市民ニーズに対応できる情報の提供と生涯学習時代の到来に則した計画的な図書館資料の整備を行う。市民の知る権利をみとすため、図書館法に基づき、計画的な蔵書更新、収集が必要不可欠である。限られた資料費でいかに新刊と定番・必須図書とのバランスをとりながら、複数年度に渡り、継続的に資料整備を行う。また、第三次みよし市子ども読書活動推進計画に基づき、学校、学校図書館、児童・生徒向けの資料を整備する。SDGsの取り組み：4		サンライブの開架蔵書可能冊数 150,000冊 閉架書庫170,000冊 令和2年度末の蔵書冊数 290,781冊 令和2年度の貸出冊数 513,708冊 新型コロナウイルスの影響により、図書館開館日が昨年度比で10%程度減少し、利用制限などを行ったにも関わらず、貸出冊数は13%程度の減少にとどまった。今後もより魅力的で豊富な図書館資料の整備が必要となっている。							
R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		利用者のニーズに応え、最新の文芸書や、注目されている分野、新たに発生した事件に関する図書を購入した。また、既に登録した図書・雑誌などについても、配置場所（正しい場所にあるか、見やすく取り出しやすいかなど）や資料状態（汚破損の有無）の確認を行い、常に館内奉仕に対応できる状態にした。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか			(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	利用者の図書に対するニーズは増加・多様化し続けている。		名称		単位					
			① 図書等購入冊数（中央）		冊					
		② 蔵書冊数（全館）		冊						
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）			(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
①購入図書 ②リクエスト図書（新規購入・予約・他館借受）			名称		単位					
			① 購入図書（選定・リクエスト）	冊						
			② リクエスト図書受付数	冊						
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）			(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
①多様な市民ニーズに応えられる蔵書構成ができるようにする。 ②図書を充実させ、利用者に満足してもらう。			名称		単位					
			① 入館者数（実数）／人口（中央）	%						
			② 図書利用者／入館者数（中央）	%						
結果（上位基本事業の意図）			(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
利用しやすい図書館サービスを充実し、教養や知識を得てもらう。			名称		単位					
			① 市民1人当たりの図書利用冊数	冊						
			②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標										
指標 \ 年度	単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値		
(1)の 活動指標	① 冊	19,280	19,000	15,697	19,000	19,000	19,000	19,000		
	② 冊	280,675	298,675	307,845	326,147	332,000	332,000	332,000		
(2)の 対象指標	① 冊	19,280	19,000	15,697	19,000	19,000	19,000	19,000		
	② 冊	25,753	26,000	22,387	26,000	26,000	26,000	26,000		
(3)の 成果指標	① %	442.2	473.5	201.6	469.4	465.4	463.4	461.4		
	② %	50.4	51.8	113.3	80	80	80	80		
(4)の結果の 成果指標	① 冊	9.6	10	8.4	10	10	10	10		
	②									
予算費目	会計	01 一般会計			款	10	項	05	目	04
コスト	年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値		
事業費（決算又は予算額）A	単位	41,755	42,462	41,546	41,136	36,736	36,736	36,736		
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	41,755	42,462	41,546	41,136	36,736	36,736	36,736	
人件費B	千円	6,385.4	3,623.4	3,623.4	3,623.4	3,623.4	3,623.4	3,623.4		
正職員従事時間×人数	時間×人	615×3	485×2	485×2	485×2	485×2	485×2	485×2		
正職員以外の人件費	千円	260	403	403	403	403	403	403		
その他の費用C	千円	126	126	62	62	62	62	62		
トータルコストA+B+C	千円	48,266.4	46,211.4	45,231.4	44,821.4	40,421.4	40,421.4	40,421.4		
単位あたりコスト	① 千円/冊	2.5	2.4	2.9	2.4	2.1	2.1	2.1		
	(トータルコスト/ (2) の対象指標) ② 千円/冊	1.9	1.8	2	1.7	1.6	1.6	1.6		

様式1-2

事務事業名	No.	443	図書、逐次刊行物（新聞・雑誌等）等整備事業
-------	-----	-----	-----------------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	図書館法に基づき、計画的な蔵書更新、収集が行われている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	対象の範囲に変化がないため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的内容に変化がないため。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容		計画的な新刊本の購入により、図書資料の充実を図る。
	目的達成状況	内容		90%以上達成できている。
	市関与の必要性（実施手法）	内容		<input checked="" type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 図書館運営を市が直営で行い、窓口等業務の一部を委託する。
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容		他の事業と対象者が異なるため、事務事業の統廃合はできない。
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容		計画的に蔵書更新を行っているため削減できない。
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	市が運営する事業のため、受益者負担なし。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	市民ニーズに対応した新しい書籍の更新をしてほしい。	対応策	計画的に書籍の購入と更新をする。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	図書館資料等の購入	変更・追加	①電子書籍の導入
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 みよし市図書館学習交流プラザ「サンライズ」の中核機能として、予算内で、利用者の求めるものと図書館として必要なものとのバランスを取りながら、資料を整備していく。 職員が図書資料についての研鑽や利用者からの情報収集に努めていく。			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止				
	コストの方向性	↓ 減少			
	成果の方向性	→ 維持			

令和3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	444	図書館奉仕（図書の貸出等）事業							
	この事務事業の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう								
			基本事業	生涯学習								
	主管課名		生涯学習推進課			課長名	橋本 慎一郎					
	この事務事業の開始時期		昭和53年4月			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		図書館法第3条									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	図書館業務にかかる事務を行う。 図書館サービスとして、愛知県、三河地域の各公共図書館との連絡・情報交換を行い、研修を行うことで、地域の郷土レファレンス等を実施する。 また、図書館業務に従事する職員として、司書資格の取得のため図書館司書講習の受講を行う。 S D G s の 取 り 組 み : 4					図書館の窓口業務に関して、平成28年度から業務委託にて実施しているが、業務内容の精査、指導などのために司書として専門的な知識と能力を有する職員の育成が必要となっている。 また、各公共図書館、大学図書館と連携し、資料を融通する相互貸借などを実施する。						
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		カウンター業務（貸出返却、閲覧）・新聞雑誌受入業務・図書督促業務・文献複写・インターネットサービス・図書配架維持管理業務・印刷物等館内掲示業務・視聴覚資料管理業務・団体貸出業務・レファレンスサービス（読書相談、調査・研究）									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	利用者のニーズが多様化している。				名称		単位					
					① 貸出の総数		冊					
					② 入館者数		人					
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
市民					名称		単位					
					① 人口		人					
					②							
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
利用しやすい図書館サービスの提供を受ける。					名称		単位					
					① 読書相談件数		件					
					②							
結果（上位基本事業の意図）					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
利用しやすい図書館サービスを充実することにより、市民に知識や教養を習得してもらう。					名称		単位					
					① 市民1人当たりの図書利用冊数		冊					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H31年度実績値	R2年度計画値	R2年度実績値	R3年度計画値	R4年度目標値	R5年度目標値	R6年度目標値			
(1)の活動指標		① 冊	588,579	520,000	513,615	520,000	520,000	520,000	520,000			
		② 人	269,905	289,000	123,442	289,000	289,000	289,000	289,000			
(2)の対象指標		① 人	61,040	61,570	61,236	62,100	62,360	62,620	62,880			
		②										
(3)の成果指標		① 件	1,746	2,300	465	2,300	2,300	2,300	2,300			
		②										
(4)の結果の成果指標		① 冊	9.6	10	8.4	10	10	10	10			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	04
コスト		年度	H31年度実績値	R2年度計画値	R2年度実績値	R3年度計画値	R4年度目標値	R5年度目標値	R6年度目標値			
事業費（決算又は予算額）A		単位	1,454	1,328	1,162	1,155	1,221	1,009	1,009			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	1,454	1,328	1,162	1,155	1,221	1,009	1,009			
人件費B		千円	3,513.6	3,656.6	3,656.6	3,656.6	3,656.6	3,656.6	3,656.6			
正職員従事時間×人数		時間×人	490×2	490×2	490×2	490×2	490×2	490×2	490×2			
正職員以外の人件費		千円	260	403	403	403	403	403	403			
その他の費用C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	4,967.6	4,984.6	4,818.6	4,811.6	4,877.6	4,665.6	4,665.6			
単位あたりコスト		千円/人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	444	図書館奉仕（図書の貸出等）事業
-------	-----	-----	-----------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	市民1人当たりの図書利用冊数が年々増加している。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	対象の範囲に変化がないため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的内容に変化がないため。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	読書相談、貸出業務の利便性の向上等、図書館サービスの充実を図る。	
	目的達成状況	内容	令和元年度、令和2年度（新型コロナウイルスの影響による）を除けば90%以上達成できている。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input checked="" type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 図書館運営を市が直営で行い、窓口等業務の一部を委託する。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	類似する他の事業がないため統廃合はできない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	仕様の変更により削減することができる。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	市が運営する事業のため、受益者負担なし。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	図書館業務に精通した職員の配置と育成が必要	対応策	司書講習を受講する。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	図書館窓口運営業務、市職員の司書講習の受講	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 サンライズの貸館利用者や生涯学習講座受講者が利用してみようと思える図書館サービスを計画的に実施していく。 また、利用者の増加に伴い、多様な利用者ニーズに応えるため、司書講習・専門研修を受講し、職員のスキル向上を図る。			
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状	事務事業名		No.	445	読書啓発事業							
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう								
			基本事業	生涯学習								
	主管課名		生涯学習推進課		課長名	橋本 慎一郎						
	この事務事業の開始時期		昭和53年7月		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		図書館法第3条									
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	本や読書を軸とした人のふれあいや図書館支援活動を推進し、協働で活動を行う。 図書館支援団体の育成、活動の支援。 読書講演会、図書館教室の開催。 読書感想文コンクールの実施。 手作り絵本展の開催。 学校における読み聞かせ活動への支援。 SDGsの取り組み：4				読書啓発は図書館として、子どもたちの情操教育の一助として0歳児から取り組むことで効果がある。特に読書や読み聞かせは、情操、感性の発達に適していることから幼少の時期から読書に親しむ習慣を身につけ、習慣化する事が大切である。 そのため、図書館支援団体と協働で、「おはなし会」等の事業を実施している。これらの活動の支援と市民の教養向上のため教室や読書講演会、勉強会を開催している。							
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等				・講座の開催（一部中止）・読書感想文コンクールの中止・ボランティア団体の育成（おはなし会中止）・子ども一日司書の中止（小学校）・職場体験 三好中、三好丘中、南中、北中（すべて中止）							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	図書館支援団体の会員の高齢化による人数の減少				名称		単位					
					① 教室開催数（図書館講座）		回					
					② 児童生徒に感想文を依頼した件数		件					
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
①教室受講者 ②児童・生徒					名称		単位					
					① 受講者（定員）		人					
					② 児童・生徒数		人					
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
①文学に興味をもってもらう ②読書に親しんでもらう					名称		単位					
					① 教室参加者		人					
					② 児童向け図書貸出数（全館）		冊					
結果（上位基本事業の意図）					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
利用しやすい図書館サービスを充実し、教養や知識を習得してもらおう。					名称		単位					
					① 市民1人当たりの図書利用冊数		冊					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 回	17	20	4	20	20	20	20			
		② 件	6,582	6,582	0	6,582	6,582	6,582	6,582			
(2)の 対象指標		① 人	740	750	103	750	750	750	750			
		② 人	6,582	6,582	6,438	6,438	6,438	6,438	6,438			
(3)の 成果指標		① 人	688	650	88	650	650	650	650			
		② 冊	246,107	260,000	229,018	280,000	300,000	320,000	340,000			
(4)の結果の 成果指標		① 冊	9.6	10	8.4	10	10	10	10			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	04
コスト		年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
事業費（決算又は予算額）A		単位	1,060	1,670	691	957	1,102	1,102	1,102			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	1	1	1	1	1	1			
	一般財源	千円	1,060	1,669	690	956	1,101	1,101	1,101			
人件費B		千円	4,313	2,347	2,347	2,347	2,347	2,347	2,347			
正職員従事時間×人数		時間×人	100×1	100×1	100×1	100×1	100×1	100×1	100×1			
正職員以外の人件費		千円	3,981	2,015	2,015	2,015	2,015	2,015	2,015			
その他の費用C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	5,373	4,017	3,038	3,304	3,449	3,449	3,449			
単位あたりコスト		① 千円/人	7.3	5.4	29.5	4.4	4.6	4.6	4.6			
(トータルコスト/ (2)の対象指標)		② 千円/人	0.8	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5			

事務事業名	No.	445	読書啓発事業
-------	-----	-----	--------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	読書講演会、各種図書館講座、読み聞かせ等を実施し、多くの人が参加している。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	対象者の範囲に変化がないため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的内容に変化がないため。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容		各種講演会、読み聞かせ等の参加を促し、読書活動への意識を高める。
	目的達成状況	内容		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教室等の開催を中止した。
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営	市が主催している事業のため、市が直営で行う。
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容		類似する他の事業がないため統廃合はできない。
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容		外部委託により人件費が削減できる。
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	市が実施する事業のため、受益者負担なし。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	インターネットの普及により書籍離れが進んでいる。	対応策	図書館支援団体の育成及び講演会等の開催を継続して、読書に親しむ機会の提供をする。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	読書講演会、各種図書館講座、市制施行10周年記念講演会（コロナにより中止）	変更追加	読書講演会、各種図書館講座、読み聞かせ
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 第三次みよし市子ども読書活動推進計画に基づき、読み聞かせが重要な乳幼児や読書離れの進む青少年などに向け、学校や地域との連携を図り、読み聞かせ、読書案内、学校支援を実施する。 また、生涯学習活動の一環としても、幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対応した講演会や教室の開催をする。 これらを市民との協働で実施していくために図書館支援団体の育成に向けた研修会、勉強会を開催していく。			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	コストの方向性	↑ 増加	成果の方向性	→ 維持

令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	446	図書館電算事業							
	この事務事業 の位置		政策		安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち							
			施策		文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう							
			基本事業		生涯学習							
	主管課名		生涯学習推進課			課長名	橋本 慎一郎					
	この事務事業の開始時期		昭和62年4月			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		なし									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	図書館の蔵書管理、貸出業務、各種統計等の業務を行う。また、最近の情報の高度化に対処し、ネットワークの推進を行い、利用者ニーズに対応してゆく。 SDGsの取り組み：4 また、クラウド型電子図書館サービスを導入することで、図書館に来館せずにインターネットを利用して本を読むことができる。					平成28年7月からICタグによる貸出返却の運用を開始し、サンライブの開館により増えた業務量と迅速なサービスの提供を図っている。基本となる図書館システムは、インターネット網を使用したクラウド方式とし、平成25年度から導入している。平成31年度にシステム機器を備品購入し継続したサービスの提供を図る。また、自動貸出機、自動仕分機の運用を開始し、これにより窓口業務などの効率化、簡易化を図った。						
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			図書にICチップの装備を進め、雑誌の目次など情報量の増加を図った。 図書館システムの保守。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	インターネット環境の充実と普及、情報を提供するための機器として認識された。				名称		単位					
					① 図書館インターネット利用者数	人	② Web蔵書検索システムアクセス数	件				
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
市民					名称		単位					
					① 人口	人		②				
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
①貸出・返却を行う					名称		単位					
②正確な図書館サービスの提供を行う					① 貸出冊数	冊		②				
					②	トラブル発生件数（システム障害）		件				
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
利用しやすい図書館サービスを充実し、教養や知識を習得してもらう					名称		単位					
					①	市民1人当たりの図書利用冊数		冊				
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 人	3,261	3,500	589	3,500	3,500	3,500	35,000			
		② 件	515,098	1,107,000	145,937	153,000	161,000	170,000	178,000			
(2)の 対象指標		① 人	61,040	61,570	61,236	62,100	62,360	62,620	62,840			
		②										
(3)の 成果指標		① 冊	588,579	520,000	513,708	520,000	520,000	520,000	520,000			
		② 件	0	0	1	0	0	0	0			
(4)の結果の 成果指標		① 冊	9.6	10	8.4	10	10	10	10			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	04
コスト		年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	26,878	17,907	16,492	19,083	45,266	22,812	66,171			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	26,878	17,907	16,492	19,083	45,266	22,812	66,171			
人件費B		千円	1,660	1,660	1,660	1,660	1,660	1,660	1,660			
正職員従事時間×人数		時間×人	250×2	250×2	250×2	250×2	250×2	250×2	250×2			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	175	175	86	86	86	86	86			
トータルコストA+B+C		千円	28,713	19,742	18,238	20,829	47,012	24,558	67,917			
単位あたりコスト		① 千円/人	0.5	0.3	0.3	0.3	0.8	0.4	1.1			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	446	図書館電算事業
-------	-----	-----	---------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	ICタグによる貸出返却、自動貸出機、自動仕分機、セキュリティゲートの運用により業務の効率化、簡易化が図られている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	対象の範囲に変化がないため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的内容に変化がないため。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	公立図書館の相互貸借業務や学校などへの団体貸出についても、インターネット予約を推進することで、利用の増加が見込まれる。	
	目的達成状況	内容	90%以上達成できている。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input checked="" type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 図書館システムの保守等業務を委託する。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	類似する他の事業がないため統廃合はできない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	図書館システム保守等の維持管理に必要な費用のため削減できない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	市が運営する事業のため、受益者負担なし。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	電算機器の適正な管理・運用	対応策	自動貸出機の運用を推進していく。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	図書館システムの保守等維持管理 図書館システムの機器更新	変更 追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案		
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 IT社会の進展に伴い、老若男女問わず簡易に利用できる図書検索、予約システムが一層、求められている。 このため、パソコンからだけでなく、スマートフォンなどからでも利用できるように常に最新のツールに対応したシステムの構築が必要となっている。 また、予約本のセルフ貸出など機能の強化も必要となっている。		
コストの方向性			↑ 増加		
成果の方向性			→ 維持		

令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務 事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	447	図書館協議会運営事業							
	この事務事業の位置		政策		安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち							
			施策		文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう							
			基本事業		生涯学習							
	主管課名		生涯学習推進課		課長名	橋本 慎一郎						
	この事務事業の開始時期		昭和52年10月19日		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		図書館法第14条、15条、16条及びみよし市立図書館設置条例									
	事業の概要		現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由									
	図書館の運営に関し館長の諮問に応じ、図書館事業や計画について意見を募る図書館協議会の開催を行う。 SDGsの取り組み：4		協議会（年2回）及び視察研修 委員会の構成：学識経験者又は実務経験者、社会教育委員会代表、PTA代表、指導主事（計7名）									
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		協議会（年2回）									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか		(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）										
変 化 内 容	変化していない				名称		単位					
			①		協議会開催数		回					
			②									
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）		(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）										
図書館協議会委員				名称		単位						
		①		協議会委員		人						
		②										
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）		(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）										
図書館協議会委員を通し、多くの意見をもらう				名称		単位						
		①		意見の数		件						
		②		意見を取り入れた数		件						
結果（上位基本事業の意図）		(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）										
利用しやすい図書館サービスを充実し、教養や知識を習得してもらう				名称		単位						
		①		市民1人当たりの図書利用冊数		冊						
		②										
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H31年度実績値	R2年度計画値	R2年度実績値	R3年度計画値	R4年度目標値	R5年度目標値	R6年度目標値			
(1)の活動指標		① 回	3	3	2	3	3	3	3			
		②										
(2)の対象指標		① 人	7	8	7	8	8	8	8			
		②										
(3)の成果指標		① 件	10	10	5	10	10	10	10			
		② 件	9	8	5	8	8	8	8			
(4)の結果の成果指標		① 冊	9.6	10	8.4	10	10	10	10			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	04
コスト		年度	H31年度実績値	R2年度計画値	R2年度実績値	R3年度計画値	R4年度目標値	R5年度目標値	R6年度目標値			
事業費（決算又は予算額）A		単位	152	247	36	247	247	247	247			
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債		千円	0	0	0	0	0	0			
	その他		千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源		千円	152	247	36	247	247	247	247		
人件費B		千円	1,494	1,494	1,494	1,494	1,494	1,494	1,494			
正職員従事時間×人数		時間×人	225 × 2	225 × 2	225 × 2	225 × 2	225 × 2	225 × 2	225 × 2			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	1,646	1,741	1,530	1,741	1,741	1,741	1,741			
単位あたりコスト ①		千円/人	235.1	217.6	218.6	217.6	217.6	217.6	217.6			
(トータルコスト/②)の対象指標		千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	447	図書館協議会運営事業
-------	-----	-----	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	図書館運営に関する諮問機関のため。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	対象者の範囲に変化がないため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的内容に変化がないため。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	図書館協議会委員の意見等を事業に反映させる。	
	目的達成状況	内容	90%以上達成できている。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市が事務局となり、図書館協議会を開催する。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	類似する他の事業がないため統廃合はできない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	会議の開催回数等必要最小限で行っているため削減できない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	市が実施する事業のため、受益者負担なし。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	図書館協議会の意見を図書館の運営に反映させる。	対応策	図書館協議会委員の意見を受けとめ、サービスの向上を図る。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	図書館協議会開催。	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 図書館の運営に対する意見等を事業に反映する。 また、図書館に関連し、図書館学習交流プラザ「サンライブ」の運営等について意見をいただいている。			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止				
	コストの方向性	→ 維持			
	成果の方向性	→ 維持			

令和3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	448	市民情報サービスセンター図書コーナー整備事業						
	この事務事業の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち							
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう							
			基本事業	生涯学習							
	主管課名		生涯学習推進課		課長名	橋本 慎一郎					
	この事務事業の開始時期		平成12年10月		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		図書館法第3条								
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	三好ヶ丘駅前の「まちかど図書室」の位置づけから、より身近に利用されるきたよし地区の図書館サービス拠点として図書を整備する。サンネットの蔵書だけでなく、利用者がインターネットから予約することで、中央図書館の図書についても週6便の配本車で回送を行い提供する。 SDGsの取り組み：4				中央図書館から遠い地区居住する市民にとって利用しなくてもできない状況があり（特に年配者、弱年者）、あきらめざるを得ないことが多々あると考えられるが、きたよし地区においては、サンネット図書コーナーにより、通勤通学時にも利用できる施設となっている。図書館学習交流プラザ「サンライズ」の開館に伴い、中央図書館で借りた本の返却場所として利用が多くなっている。（令和2年度サンネット貸出冊数75,665冊、返却冊数92,876冊）						
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			市民情報サービスセンターにて、図書の貸出・返却を行った。利用者のニーズに応えた資料の整備を行い、図書資料の充実を図った。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	利用者の図書に対するニーズは増加・多様化し続けている。			名称		単位					
				① サンネット図書コーナー利用者数	人	② サンネット蔵書冊数	冊				
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
①市民 ②きたよし地区市民				名称		単位					
				① 人口	人	② きたよし地区市民	人				
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
①貸出・返却を行う ②図書館サービスの提供を行う				名称		単位					
				① 貸出冊数（サンネット）	冊	② サンネットでの図書利用者数	人				
結果（上位基本事業の意図）				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
市民に身近な施設（サービスセンター）でより多くの行政サービスを提供する				名称		単位					
				① 市民1人当たりの図書利用冊数	冊	②					
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度		単位	H31年度実績値	R2年度計画値	R2年度実績値	R3年度計画値	R4年度目標値	R5年度目標値	R6年度目標値		
(1)の活動指標		① 人	25,777	26,000	21,095	26,000	26,000	26,000	26,000		
		② 冊	15,820	15,000	16,931	15,000	15,000	15,000	15,000		
(2)の対象指標		① 人	61,040	61,570	61,236	62,100	62,360	62,620	62,880		
		② 人	31,569	31,456	31,512	31,950	32,084	32,217	32,351		
(3)の成果指標		① 冊	88,046	89,000	75,665	89,000	89,000	89,000	89,000		
		② 人	25,777	26,000	21,095	26,000	26,000	26,000	26,000		
(4)の結果の成果指標		① 冊	9.6	10	10	10	10	10	10		
		②									
予算費目		会計	01 一般会計			款	10	項	05	目	04
コスト		年度	H31年度実績値	R2年度計画値	R2年度実績値	R3年度計画値	R4年度目標値	R5年度目標値	R6年度目標値		
事業費（決算又は予算額）A		単位	3,523	3,705	3,603	3,450	3,450	3,450	3,450		
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	3,523	3,705	3,603	3,450	3,450	3,450	3,450		
人件費B		千円	1,494	1,494	1,494	1,494	1,494	1,494	1,494		
正職員従事時間×人数		時間×人	225×2	225×2	225×2	225×2	225×2	225×2	225×2		
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0		
その他の費用C		千円	0	0	0	0	0	0	0		
トータルコストA+B+C		千円	5,017	5,199	5,097	4,944	4,944	4,944	4,944		
単位あたりコスト		① 千円/人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/人	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		

事務事業名	No.	448	市民情報サービスセンター図書コーナー整備事業
-------	-----	-----	------------------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	きたよし地区の人口増加に伴う図書館サービスの拡充により年々利用が増加している。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	対象者の範囲に変化がないため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的内容に変化がないため。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	施設の構造上書架を増やすことができないため、成果の向上は難しい。	
	目的達成状況	内容	年々利用が増加している。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input checked="" type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 サンネット図書コーナーの窓口業務及び図書運搬を委託している。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	類似する他の事業がないため統廃合はできない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	仕様の変更により削減することができる。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	市が運営する事業のため、受益者負担なし。

3 改革 改善 案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	自主学習スペースが少ないと市民から要望がある。	対応策	旧店舗部分を改修しサンネット図書コーナーの増床に伴い閲覧席や自主学習等スペースを増やす。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	サンネット図書コーナーの運営	変更追加	旧店舗部分を改修しサンネット図書コーナーの増床に伴い閲覧席や自主学習等スペースを増やす。
	今後の事業・コスト・成果の方向性		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 図書の貸出の簡易化と資料管理の徹底のため、自動貸出機、セキュリティーゲートの設置が必要である。		
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		↑ 増加			

令和3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名	No.	451	みよし悠学カレッジ講座運営事業							
	この事務事業 の位置	政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
		施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう								
		基本事業	生涯学習								
	主管課名	生涯学習推進課			課長名	橋本 慎一郎					
	この事務事業の開始時期	平成11年9月			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令	みよし悠学カレッジ実施要綱									
	事業の概要	現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由									
	生涯学習推進基本計画に基づき、多様化する住民のニーズや、社会情勢の変化に対応した生涯学習講座を、公開講座 生活創造講座 国際理解講座 情報・通信講座として、春夏、秋冬、新春の3期に、サンライブを中心に開催する。 SDGsの取り組み：4,17	市民の学術への関心、技術の向上、趣味活動の充実や生きがいくくり・仲間づくりなど多様な学習機会を提供する役割を担っている。									
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等	講座内容計画→講師依頼→広報→募集受付→抽選→受講者決定→受講料納入→講座開講準備→講座運営→調査分析（アンケート）→反省 ※R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、春夏講座を中止、秋冬及び新春講座は月ごとの募集とした。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	受講場所を旧生涯学習センターからサンライブへ変更したため、休日・夜間講座の開催回数が増えた。			名称		単位					
				① 講座数			講座				
				② 講座受講者数			人				
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
①15歳以上の市内在住者 ②（市内）在勤・在学者				名称		単位					
				① 市内15歳以上の人口			人				
				② 市内への在勤・在学者数			人				
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
①生涯にわたって学習する意欲を持ち、日常生活で取り組んでもらう ②講座の存在を知り、参加する				名称		単位					
				① 講座申込者			人				
				② 講座に初めて参加した人数			人				
結果（上位基本事業の意図）				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
学習意欲を持ち講座へ参加してもらおう				名称		単位					
				① 生涯学習講座受講者			人				
				②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 講座	202	100	155	200	200	200	200			
	② 人	2,334	1,500	538	3,000	3,000	3,000	3,000			
(2)の 対象指標	① 人	51,732	51,986	52,063	52,570	52,870	53,171	53,472			
	② 人	23,181	10,000	23,181	23,181	23,181	23,181	23,181			
(3)の 成果指標	① 人	3,175	1,750	1,453	3,500	3,500	3,500	3,500			
	② 人	332	175	81	350	350	350	350			
(4)の結果の 成果指標	① 人	7,748	4,250	1,564	8,000	8,000	8,000	8,000			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	09
コスト	年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
事業費（決算又は予算額）A	単位	15,555	19,827	6,238	22,408	18,610	27,410	18,610			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	7,141	10,866	1,235	8,694	10,866	10,866	10,866		
	一般財源	千円	8,414	8,961	5,003	13,714	7,744	16,544	7,744		
人件費B	千円	17,944	16,199.4	16,199.4	16,199.4	16,199.4	16,199.4	16,199.4			
正職員従事時間×人数	時間×人	700×2	765×3	765×3	765×3	765×3	765×3	765×3			
正職員以外の人件費	千円	13,296	8,580	8,580	8,580	8,580	8,580	8,580			
その他の費用C	千円	83	83	83	83	83	83	83			
トータルコストA+B+C	千円	33,582	36,109.4	22,520.4	38,690.4	34,892.4	43,692.4	34,892.4			
単位あたりコスト	① 千円/人	0.6	0.7	0.4	0.7	0.7	0.8	0.7			
	② 千円/人	1.4	3.6	1	1.7	1.5	1.9	1.5			
(トータルコスト/ (2) の対象指標)											

事務事業名	No.	451	みよし悠学カレッジ講座運営事業
-------	-----	-----	-----------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	多様化する住民のニーズや、社会情勢の変化に対応した生涯学習講座を開催することで、多様な学習機会を提供する役割を担っている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	対象者の範囲に変化がないため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的内容に変化がないため。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	市民のニーズや嗜好を把握した、より興味深い講座を企画する。	
	目的達成状況	内容	90%以上達成できている。	
	市関与の必要性 (実施手法)	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市が生涯学習講座を開催することで、多様化する住民のニーズや社会情勢の変化を把握する。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	類似する他の事業がないため統廃合はできない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	事務の進め方を改善し、従事時間を削減する。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	生涯学習講座の受講料及び教材費は受益者が負担している。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	多様な講座を開催しているが、受講生が固定化する傾向にある。	対応策	今後は勤労者などがより参加しやすい曜日、時間帯での開催を増やしていく必要がある。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	春夏、秋冬、新春の3期に生涯学習講座を開催（新春講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止）。	変更追加	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、春夏の生涯学習講座を中止。秋冬、新春の講座についても開催すべきか検討が必要。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 今後は勤労者などがより参加しやすい曜日、時間帯での開催を増やしていく必要がある。 生涯学習推進基本計画が平成24年度に改訂された。10年間の計画であるため、令和4年3月に新たな改訂版を策定する。			
コストの方向性		↓ 減少			
成果の方向性		→ 維持			

令和3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	452	生涯学習発表会開催事業						
	この事務事業の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち							
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう							
			基本事業	生涯学習							
	主管課名		生涯学習推進課		課長名	橋本 慎一郎					
	この事務事業の開始時期		平成6年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		生涯学習推進基本計画								
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	生涯学習推進基本計画に基づき、自主的に生涯学習活動をしている団体の活動成果の発表の場として「生涯学習発表会」を開催する。 SDGsの取り組み：4				市内を中心に生涯学習活動を展開する生涯活動団体を対象とし、年1回、日頃の学習活動の成果を発表する機会を提供し、市民の学習意欲の高まりと生涯学習活動の広まりを促進する。 ・開催時期 2月下旬 ・開催場所 サンアート サンライブ ・内容 芸能発表、作品展示、お茶会						
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		生涯学習活動団体登録受付→生涯学習活動登録団体及び生涯学習センタークラブ登録団体へ出展希望調査→出展団体担当者会議→会場設営委託業務の発注→作品展示会場設営→展示作品搬入→生涯学習発表会開催→展示作品搬出→会場撤去 ※R2年度は芸能発表会を中止し、作品展示のみ開催								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	平成29年度より、作品展示をサンアートからサンライブで開催するように変更した。			名称		単位					
				① 開催日数		日					
				②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
生涯学習センタークラブ・生涯学習活動登録団体				名称		単位					
				① 生涯学習センタークラブ数		団体					
				② 生涯学習活動登録団体数		団体					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
生涯学習活動の発表の場を提供する				名称		単位					
				① 出演、出品者数		人					
				② 来客者数		人					
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
自主的な生涯学習活動の推進を図る				名称		単位					
				① 生涯学習に満足している人の割合		%					
				② 生涯学習施設利用者		人					
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度		単位	H31年度実績値	R2年度計画値	R2年度実績値	R3年度計画値	R4年度目標値	R5年度目標値	R6年度目標値		
(1)の活動指標		① 日	12	12	12	12	12	12	12		
		②									
(2)の対象指標		① 団体	54	60	53	60	60	60	60		
		② 団体	64	70	59	70	70	70	70		
(3)の成果指標		① 人	366	380	129	380	380	380	380		
		② 人	4,181	4,300	3,101	4,300	4,300	4,300	4,300		
(4)の結果の成果指標		① %	37.1	50	31.1	50	50	50	50		
		② 人	138,273	75,000	70,824	150,000	150,000	150,000	150,000		
予算費目		会計	01 一般会計			款	10	項	05	目	09
コスト		年度	H31年度実績値	R2年度計画値	R2年度実績値	R3年度計画値	R4年度目標値	R5年度目標値	R6年度目標値		
事業費(決算又は予算額) A		単位	397	1,122	294	797	797	797	797		
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	397	1,122	294	797	797	797	797		
人件費B		千円	2,490	2,788.8	2,788.8	2,788.8	2,788.8	2,788.8	2,788.8		
正職員従事時間×人数		時間×人	375×2	280×3	280×3	280×3	280×3	280×3	280×3		
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0		
その他の費用C		千円	83	83	83	83	83	83	83		
トータルコストA+B+C		千円	2,970	3,993.8	3,165.8	3,668.8	3,668.8	3,668.8	3,668.8		
単位あたりコスト		① 千円/団体	55	66.6	59.7	61.1	61.1	61.1	61.1		
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/団体	46.4	57.1	53.7	52.4	52.4	52.4	52.4		

事務事業名	No.	452	生涯学習発表会開催事業
-------	-----	-----	-------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	年1回、日頃の学習活動の成果を発表する機会を提供しており、市民の学習意欲の高まりと生涯学習活動の広まりを促進している。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	市の事業であるため、発表者は市内を中心に生涯学習活動を展開する団体であることが妥当である。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	市民の学習意欲の高まりと生涯学習活動の広まりを促進することが最終目標であるため。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	生涯学習発表会の会場を検討し、出演者、出品者、来客者数の増加を図る。	
	目的達成状況	内容	年1回生涯学習発表会を実施し、90%以上達成できている。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input checked="" type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 展示会場の設営を委託をする。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	類似事業：春の文化祭、秋の文化展 文化祭、文化展は文化協会所属団体のみ出演、出展となり、廃止した場合には文化協会に属せず市内を中心に生涯学習活動を展開する生涯学習活動団体の発表の場がなくなるため統廃合できない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	発表団体が会場レイアウト、芸能発表スケジュールを作成することで、人件費を削減することができる。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	市が主催する事業のため、受益者負担なし。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	生涯学習発表会の芸能発表への出演要望団体数が増加しているため、限られた時間内での発表に工夫が必要である。	対応策	発表会の出演者が自主的に運営できるような方法を検討していく。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	芸能発表会をサンアートで開催。（新型コロナウイルス感染症予防のため中止）	変更追加	芸能発表会をサンライブで開催。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 発表会の出演者が自主的に運営できるような方法を検討していく。			
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	454	図書館学習交流プラザ管理運営事業					
	この事務事業の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち						
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう						
			基本事業	生涯学習						
	主管課名		生涯学習推進課		課長名	橋本 慎一郎				
	この事務事業の開始時期		平成28年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
	この事務事業の根拠法令		みよし市図書館学習交流プラザ設置条例							
	事業の概要		現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	図書館学習交流プラザの維持管理及び運営を行う。 SDGsの取り組み：4, 11, 16		利用者の利便性向上、管理経費削減、市民の生涯学習を支えるため、図書館学習交流プラザの適正な維持管理運営に努める必要がある。							
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		建物の維持管理・清掃・受付案内・警備業務・図書館窓口等運營業務を委託し、申請の受付、施設の貸出、施設の修繕、図書館の開館を実施。 4/14～5/31緊急事態宣言発出による臨時閉館 1/19～2/28緊急事態宣言発出による閉館時間引き上げ（21時→20時）							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	運営方法に変化がないため継続して実施			名称		単位				
				①	図書館学習交流プラザ開館日数	日				
			②	委託金額	千円					
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
図書館学習交流プラザ				名称		単位				
				①	図書館学習交流プラザ延床面積	㎡				
				②	図書館学習交流プラザ駐車台数	台				
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
図書館学習交流プラザを快適・安全に利用してもらう。				名称		単位				
				①	中央図書館入館者	人				
				②	生涯学習センター利用者	人				
結果（上位基本事業の意図）				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
学習意欲を持ち図書館の利用や生涯学習講座に参加してもらう。				名称		単位				
				①	図書貸出数	冊				
				②	生涯学習講座受講者	人				
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標										
指標 \ 年度	単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値		
(1)の 活動指標	① 日	307	286	265	306	306	307	306		
	② 千円	111,158	111,158	109,555	119,398	117,439	118,176	120,547		
(2)の 対象指標	① ㎡	7,094	7,094	7,094	7,094	7,094	7,094	7,094		
	② 台	303	303	303	263	263	263	263		
(3)の 成果指標	① 人	269,905	289,000	123,442	200,000	289,000	289,000	289,000		
	② 冊	62,528	50,000	41,224	60,000	65,000	65,000	65,000		
(4)の結果の 成果指標	① 冊	588,579	520,000	513,053	520,000	520,000	520,000	520,000		
	② 人	7,748	4,250	1,564	4,000	8,000	8,000	8,000		
予算費目	会計	01 一般会計			款	10	項	05	目	09
コスト	年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値		
事業費（決算又は予算額）A	単位	131,997	135,907	124,807	139,458	135,467	135,497	137,942		
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	5,965	5,196	4,756	5,171	4,450	4,450	4,450	
	一般財源	千円	126,032	130,711	120,051	134,287	131,017	131,047	133,492	
人件費B	千円	6,396	9,029	9,029	9,029	9,029	9,029	9,029		
正職員従事時間×人数	時間×人	650×2	1,025×2	1,025×2	1,025×2	1,025×2	1,025×2	1,025×2		
正職員以外の人件費	千円	2,080	2,223	2,223	2,223	2,223	2,223	2,223		
その他の費用C	千円	397	397	397	397	397	397	397		
トータルコストA+B+C	千円	138,790	145,333	134,233	148,884	144,893	144,923	147,368		
単位あたりコスト	① 千円/㎡	19.6	20.5	18.9	21	20.4	20.4	20.8		
	② 千円/台	458.1	479.6	443	566.1	550.9	551	560.3		

事務事業名	No.	454	図書館学習交流プラザ管理運営事業
-------	-----	-----	------------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	市民の生涯学習の推進を図ることにより、地域のにぎわいを創出し、文化の向上に寄与している。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	対象となる範囲に変化がないため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的内容に変化がないため。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容		施設のPRやイベント等の充実により、利用者の増加を図る。
	目的達成状況	内容		90%以上達成できている。
	市関与の必要性（実施手法）	内容		<input checked="" type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 建物の維持管理・清掃・受付案内・警備業務・図書館窓口等運営業務を委託する。
効 率 性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容		類似する他の事業がないため統廃合はできない。
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容		仕様の変更により削減することができる。
公 平 性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	令和元年度に受益者負担の見直しにより、生涯学習センター利用料は適正と判断されたため。

3 改 善 案 A C T I O N	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	議会や利用者から施設利用及び図書館利用において、利用しやすく質の高いサービスが求められている。	対応策	総合維持管理業務及び図書館窓口業務を現在の水準以上となるように業者選定をして、質の高いサービスを提供できるようにする。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	申請の受付、施設の貸出、施設の修繕、図書館の開館を実施。	変 更 追 加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 令和3年度以降のサンライズの管理運営のあり方について、指定管理者制度も含めて検討した結果、引き続き直営とすることが決定した。			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止				
	コストの方向性	→ 維持			
	成果の方向性	→ 維持			